

平成27年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	南下町	相続者がおらず、手入れがなされていない土地がある。町内会で年に何回か草むしりをしている。都市計画課で空き家対策だけでなく、空き地対策をしてくれないか。例えば、防災備蓄倉庫等を建てるなどすれば町内会で手入れしやすくなる。	地域でまとめた意見を提案していただき、検討をしていきたい。
2	南下町	工場が撤退しているが、税収を増やす努力はしているのか。	工場誘致をしても、住民からの反対で撤退してしまった企業もある。工場誘致は現実的に難しい。大磯の町並みや文化を生かし、人口を増やして税収を増やしたい。大磯町にあった起業をサポートする取り組みなどもできればと考えている。
3	南下町	津波対策で、鉄門が無い地区の対策はどうするのか。	堤防などハード整備だけでは解決は難しいので、避難訓練や避難経路の確保等のソフト整備もあわせて行うなど考えていく。
4	南下町	避難行動要支援者について、手挙げ方式で、面談で本人確認をするのか。	「明らかに支援が必要な人はどうするのか」という問題であると思う。
5	南下町	高齢者にとって生活しやすい町には、買い物のしやすさも大切である。路線バスやコミュニティバスを下町地区の通りに走らせてほしい。	神奈川中央交通の路線で、富士見地区は町が補助金を出す事で維持している。さらに路線を増やす事は現状として厳しい。バスを走らせる前に、小売店を活気づけるためにサポートするなどの取り組みを進めていきたい。
6	南下町	里山というものはあるが、里海という概念はどうか。砂利港をどうにかしてほしい。港の整備をして人が集まる整備を県に提案してほしい。	照ヶ崎プールの活用や、太平洋岸自転車道の整備、ビーチスポーツの振興などを検討している。
7	南下町	磯を増やして子ども達が遊べるようにしてほしい。砂利港に砂が溜まっている。町で全てを対応するのではなく、県にも手伝ってもらってはどうか。	検討する。
8	南下町	先日高波警報が発令された際、門扉が閉まるようになった。その事を住民に周知してくれないと困る。また、門扉のまわりのコンクリートに亀裂が入っている。	周知をしておらず申し訳ない。県は防潮堤の耐震診断と補強工事は終了している。県の状況を確認する。
9	南下町	防潮堤について県との調整はうまくいっているのか。	県と調整をしている。自主避難など自助というソフト面では皆さんにご協力いただきたい。